

ホシガレイ仔魚の適水温及び適塩分濃度について

福島県水産種苗研究所

平成13年度福島県水産種苗研究所事業報告書

平成14年度福島県水産種苗研究所事業報告書

1 部門名

水産業一種苗研究(開発)－種苗生産

分類コード 19-06-19000000

2 担当者

佐久間 徹

3 要旨

ホシガレイの種苗生産技術開発において、ふ化後15日齢頃に大量へい死が多く発生し、この時期の生残率向上が大きな課題となっていることから、日齢毎(6、9、12、15、18、21日齢)に水温(12、14、16、18℃)、塩分濃度(海水の25、50、75、100%)と生残率の関係について検討を行った。

その結果、水温、塩分濃度が生残率に与える影響の度合いは成長に伴い変化し、ふ化後日齢の若い仔魚ほど広範囲の水温、塩分濃度でも生残が可能であること、また、日齢が進むほど高水温、高塩分濃度での生残率が低くなることがわかった。

今後の放流種苗生産において生残率を向上させ、量産技術につなげる。

4 その他の資料等

なし